

# ルワンダで義足づくりー地方の人たちにも義足を!

7月26日(土) 14~16時 会場:エコストアパパラギ2階

千の丘の国とよばれる東アフリカの内陸国、ルワンダ。

かつてジェノサイドが起こったその国で、手足を失った人々に義肢を作り続ける、ルダシングワ真美さんとガテラ・ルダシングワ・エマニュエルさんをお招きし、お話を伺います。

義足を贈り続けて27年。地方に住む障害者にも義足を届けたいとの思いから、巡回診療の復活を目指し、今年1月にはクラウドファンディングを実施して見事に達成しました。昨年に引き続き、ルワンダのこと、お二人の活動のこと、直接お話を伺うことのできる貴重な機会です。ぜひ、ご参加ください。



## 講演者プロフィール

### ルダシングワ真美さん(写真左)

1989年ケニア・ナイロビにあったスワヒリ語学校に半年間留学。その後、東アフリカを旅行中にガテラ氏と出会い、ルワンダ大虐殺やルワンダの障害者の状況を聞き、義肢装具士になることを決意。

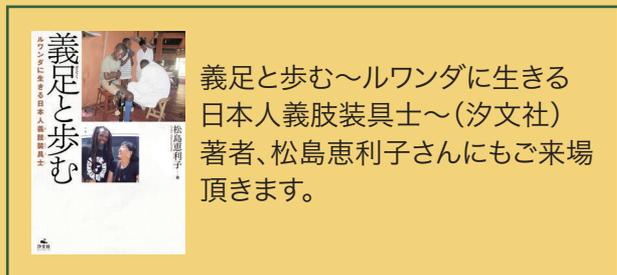
1992年より横浜の義肢製作所に弟子入りし、義肢装具士の国家資格を取得。1996年ガテラ氏と共にムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクトを設立、翌年には義肢製作所を設ける。義肢装具の製作、義肢装具士の育成、障害者スポーツの普及・障害者に対する職業訓練などの活動を進めている。

### ガテラ・ルダシングワ・エマニュエルさん(写真右)

幼い頃、病気の治療ミスのため右足が麻痺し、カトリック神父が設立した障害者の施設で育つ。その神父の「弱者に対して手を差し伸べる気持ちを持って」という意思を引き継ぎ、現在の活動を進めている。

1980年代、ルワンダの紛争を避けるためにケニアに逃れ、アフリカ民芸品を卸しながら過ごし、真美氏と出会う。1994年のルワンダ大虐殺終結後、ルワンダに戻り、1996年NGOムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクトを設立。障害者への義肢装具提供と共に、障害者スポーツの普及に力を注ぐ。

ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト



義足と歩む〜ルワンダに生きる日本人義肢装具士〜(汐文社)  
著者、松島恵利子さんにもご来場頂きます。

日時:7月26日(土) 14時~16時

寄付金(頂いた参加費は全額ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクトに寄付させていただきます)

大人1,500円 中・高校生1,000円 小学生500円

※定員に限りがあるため、完全予約制とさせていただきます。

会場:エコストアパパラギ2F(神奈川県藤沢市鵜沼石上1-3-6)

ご予約・お問い合わせ:右記のQRコードから(予約フォームが開きます)

お電話、メールでのお申し込み・お問い合わせはこちらから

**0466-50-0117**(エコストアパパラギ)

fujisawa@eco-papa.com

主催:NPO法人気候危機対策ネットワーク

共催:エコストアパパラギ

後援:藤沢市教育委員会

予約フォーム

